

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果について

本年度も4月末に「平成30年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果とそれを受けた取り組みについてお知らせします。

調査の目的は、児童生徒の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育の成果と課題を明確にし、学力向上の取り組みを充実させることにあります。

調査の内容は、学習意欲や学習方法・学習環境などに関する調査と教科に関する調査（国語A・B、算数A・B、理科）です。

【質問紙による学習意欲や学習方法・学習環境などに関する調査結果】

※ 調査結果 ○：全国標準を上回っている ●：全国標準を下回っている

- 学校の決まりを守っていますか。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。
- 将来の夢や目標を持っていますか。
- 自分にはよいところがあると思いますか。
- 週末に、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている。
- 家で、学校の宿題をしていますか。
- 家で、学校の予習・復習をしていますか。
- 今住んでいる地域行事に参加していますか。
- 国語の勉強は好きですか。
- 算数の勉強は好きですか。

学校の決まりをしっかり守ろうとする規範意識が身についてきているようです。また、ニュースなどに興味を持ち社会の出来事や動きに興味関心も高まってきていることがわかります。しかしながら一方で、テレビやDVD、ゲームやスマホといった情報メディアを使用している時間がかなり長く、ルールや約束をしっかり決めて使用する必要があるようです。

国語や算数の学習が好きという子どもが少なく、家庭学習の習慣がまだ身についてない児童もいるようです。今後は児童の自尊感情を高めるように、みんなで話し合ったり、協力したりして成し遂げる経験を増やし、小さなことでもほめるようにしていきます。その上で「もっと知りたい」「勉強が楽しい」と言える子どもを増やしていきたいと思えます。